

国民健康保険制度改革の概要

1 制度改革の目的

国民健康保険制度は、被保険者の年齢構成が高く医療費水準が高い、被保険者の所得水準が低く保険料負担が重い、財政運営が不安定になるリスクの高い小規模保険者が全体の 1/4 を占めているなどの構造的な課題を抱えていることから、制度改革により、国民皆保険を支える重要な基盤である国民健康保険制度の安定的な運営を可能とする。

2 制度改革の内容

(1) 公費による財政支援の拡充

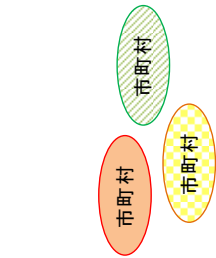
毎年約 3,400 億円の財政支援の拡充により、国保の抜本的な財政基盤の強化を図る。

財政支援の内容	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度以降
低所得者数に応じた財政支援	1,700 億円	1,700 億円	1,700 億円	1,700 億円
財政安定化基金の造成	200 億円	400 億円	1,400 億円	※32 年度までに 300 億円積み増し
保険者努力支援制度 自治体の責めによらない要因（精神疾患等）に対する財政支援 等				1,700 億円

(2) 運営の在り方の見直し（平成 30 年度～）

都道府県	市町村
財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営の中心的な役割を担う。	地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険料率の決定、賦課・徴収、保険給付、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き行う。

【現行】市町村が個別に運営

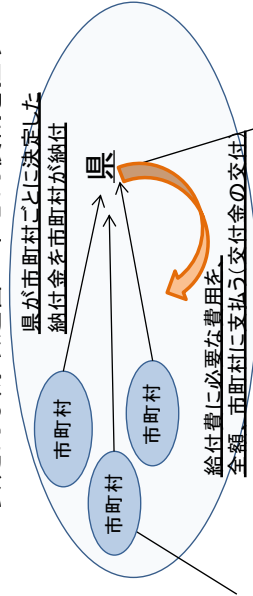


【市町村の役割】

- ・ 資格管理（被保険者証等の発行）
- ・ 保険料率の決定、賦課・徴収
- ・ 保険給付
- ・ 保健事業 など

これまでも
変わっていない

【改革後】県が市町村とともに国保運営を行うとともに、安定的な財政運営の中心的役割を担う



【市町村の役割】

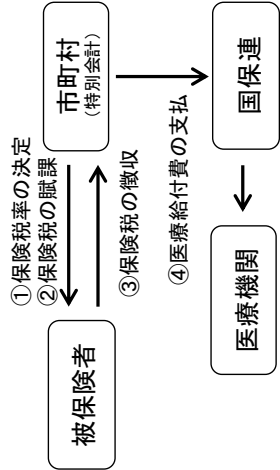
- ・ 資格管理（被保険者証等の発行）
- ・ 保険料率の決定、賦課・徴収
- ・ 保険給付
- ・ 保健事業 など

【県の役割】

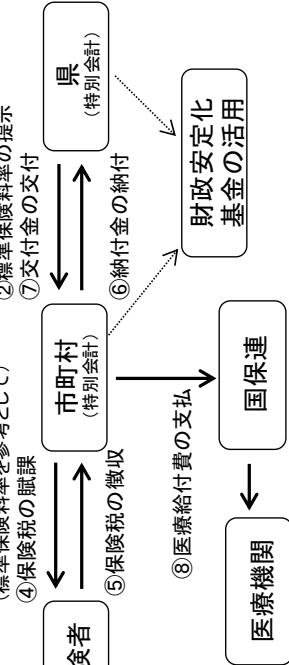
- ・ 国保運営方針（県内の統一的な方針）を策定
- ・ 市町村ごとの納付金を決定
- ・ 市町村ごとの標準保険料率等の設定
- ・ 市町村が担う事務の標準化、効率化の促進 など

《参考：財政運営の仕組み》

【現行】



【改革後】



3 納付金・標準保険料率

(1) 納付金

- ・県全体の保険給付費から公費等を除いた、保険税で賄う必要がある費用について、医療費水準、所得水準等に基づいて、各市町村に割り振る。
- ・市町村は、徴収した保険税を財源として県に納付する。

(2) 標準保険料率

- ・各市町村が納付金を納めるために必要な税率を県が設定、公表する。
- ・市町村は、標準保険料率を参考とし、保健事業等の個別の事情を勘案して保険料率を決定する。
- ・標準保険料率を設定（公表）することで、市町村間の比較可能性を高める。

4 制度改革後の保険料の考え方

- ・国のガイドラインにおいて、「市町村間の医療費水準の格差が大きい場合には、原則として医療費水準に応じた保険料率とし、将来的に地域の事情を踏まえつつ、都道府県において統一した保険料水準を目指すこととする。」とされている。
- ・本県においては、医療費水準に約 1.5 倍の格差があるという状況などから、当面は、保険料の統一は行わず、市町村ごとに設定することとしている。

5 激変緩和措置

国保の財政運営の仕組みが変わる（納付金方式の導入等）ことに伴い、一部の市町村においては、被保険者の保険料負担が上昇する可能性があることから、保険料負担が急激に増加することを回避するための措置を講じる。

(1) 市町村ごとの納付金の額を決定する際の配慮

納付金の算定にあたって設定する、医療費水準・所得水準の反映係数は、国が示したガイドラインを基に、都道府県ごとに決定することが可能であることから、市町村間の格差を少なくするような係数を設定することも可能である。

（市町村間の格差を縮小する場合は、医療費水準の低い市町村が、高い市町村の負担をカバーすることになる。）

(2) 都道府県繰入金による配慮

納付金の算定にあたっての係数は、県で同一の係数を用いるため、個別の市町村についての激変緩和措置が行えるわけではないことから、県繰入金（現在の県特別調整交付金）による激変緩和措置を設ける。

6 国民健康保険運営方針

・都道府県は、安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保のため、都道府県内統一的な運営方針を定め、市町村が担う事務の効率化、標準化、広域化を推進する。

・対象期間は、平成 30 年度から平成 32 年度までとする。（3 年ごとに見直し）

〔主な記載事項〕

<必須事項>		<任意事項>	
1	国民健康保険の医療に要する費用及び財政の見通し	5	医療費の適正化に関する事項
2	市町村における保険料の標準的な算定方法に関する事項	6	市町村が担う事務の広域的及び効率的な運営の推進に関する事項
3	市町村における保険料の徴収の適正な実施に関する事項	7	保健医療サービス・福祉サービス等に関する施策との連携に関する事項
4	市町村における保険給付の適正な実施に関する事項	8	施策の実施のために必要な関係市町村相互間の連絡調整

7 平成 29 年度のスケジュール

	国	県	市町村
H29.4		○連携会議 (4/27)	○WG、連携会議における 県との協議
H29.5	【5～6月】 ○政令・省令公布 ○条例参考例提示 【夏前】	○市町村長説明会 (5/22) ○運営協議会 (5/22) ・運営方針諮問、素案審議 ・納付金・標準保険料率試算結果提示	
H29.6	○納付金等の算定 に向けた公費の 考え方を提示	※国が示す公費の考え方やガイドライ ンの見直し等を踏まえ、市町村と協議	
H29.7	○納付金ガイドラ インの見直し		
H29.8		○連携会議	
H29.9		○連携会議 ○運営協議会 ・運営方針中間案審議 ・納付金、標準保険料率算定方法審議 (医療費水準・所得水準の反映状況、 激変緩和等)	○市町村運営協議会にお ける議論
H29.10	【10月下旬】 ○29年度仮係数 を提示	○運営方針に係る市町村法定意見聴取	○法定意見聴取への 回答
H29.11		○連携会議 ○運営協議会 ・運営方針最終案審議、答申 ・納付金・標準保険料率審議 (仮係数による算定結果)	○保険料率の算定 (仮係 数による算定結果に 基づく算定)
H29.12	【12月末】 ○29年度確定係 数を提示	●運営方針決定 ●国保法施行条例制定	
H30.1		○連携会議 ・納付金・標準保険料率審議 (確定係数による算定結果) ●納付金・標準保険料率決定・通知	○保険料率の算定 (確定 係数による算定結果 に基づく算定)
H30.2			
H30.3		●特別会計 30 年度予算決定	●保険料率決定 (条例改正) ●30 年度予算決定

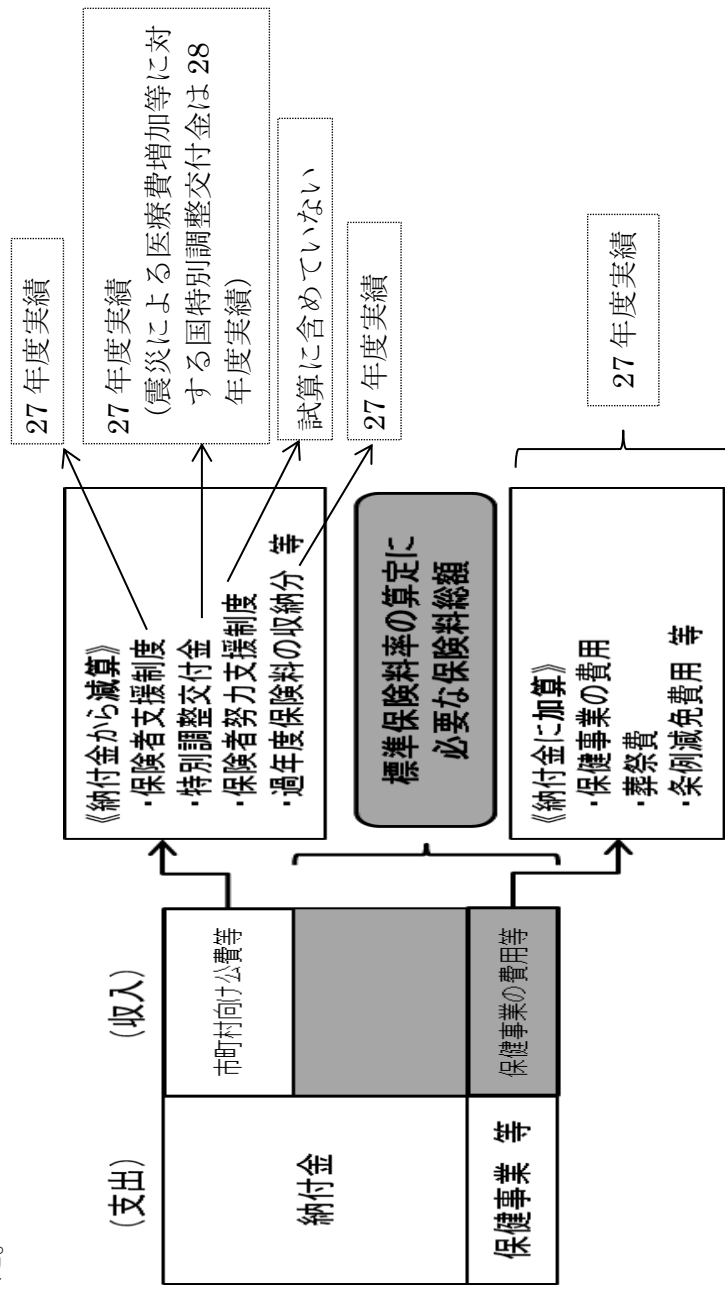
Ⅲ 試算結果

1 試算の目的

平成 30 年度分の納付金及び標準保険料率を算定するにあたり、医療費水準の反映係数、所得水準の反映係数、激変緩和の方法等を、今後、市町村と協議していくための参考として、一定条件の下、試算したものである。

2 試算の前提条件

- (1) 平成 30 年度から予定されている公費拡充（1,700 億円）は含めていない。
- (2) 試算の基礎データ（市町村基礎データ等）は、平成 27 年度実績を基準とした。
- (3) 国・県の特別調整交付金は平成 27 年度実績を反映した。
 （ただし、震災による医療費増加に対する国特別調整交付金は、平成 27 年度と平成 28 年度の交付額の乖離が大きいため、平成 28 年度実績を反映した。）
- (4) 市町村ごとの収納率は、直近 3 か年（平成 25 年度～平成 27 年度）の平均収納率を反映した。



今回の試算は、市町村と協議を進めるための参考として、一定条件に基づいて算定したものであり、市町村によっては、平成 30 年度の納付金・標準保険料率が大きく変動する可能性がある。

3 試算の方法

(1) 医療費指数反映係数 (α)

- ・納付金算定にあたり医療費水準をどの程度反映させるかを設定するための係数である。
- ・国のガイドラインでは、医療費水準に差異がある都道府県においては、 $\alpha = 1$ を用いるのが原則とされている。

(2) 所得係数 (β)

- ・県全体で必要な納付金総額を「応能分」と「応益分」に按分する際の、応能分の割合を設定するための係数である。
- ・国のガイドラインでは、全国平均を 1 として比較した都道府県ごとの所得水準（岩手県は $\beta = 0.8683$ ）を用いるのが原則とされている。

(3) 今回の試算方法

医療費指数反映係数 (α)・所得係数 (β) の違いによる影響を把握するため、次の 3 つのケースで試算した。

ケース 1：国のガイドラインに基づいた算定方法 ($\alpha = 1$ 、 $\beta =$ 岩手県 (0.8683))

ケース 2：医療費水準を半分程度反映した場合 ($\alpha = 0.5$ 、 $\beta =$ 岩手県 (0.8683))

ケース 3：所得水準の反映割合を応能分 100：応益分 100 とした場合 ($\alpha = 1$ 、 $\beta = 1$)

4 試算の結果

(1) ケースごとの 1 人当たり標準保険料率の比較

	最大の市町村	最小の市町村	差
ケース 1 ($\alpha = 1 \cdot \beta =$ 岩手県)	145,858 円	97,439 円	➔ ① 48,419 円
ケース 2 ($\alpha = 0.5 \cdot \beta =$ 岩手県)	138,449 円	102,581 円	➔ ② 35,868 円
ケース 3 ($\alpha = 1 \cdot \beta = 1$)	146,630 円	97,059 円	➔ 49,571 円

- ① ケース 1 とケース 2 を比較すると、医療費反映指数 (α) の差異が、標準保険料率に大きく影響する。 (差額 12,551 円)
- ② ケース 1 とケース 3 を比較すると、所得係数 (β) の差異が、標準保険料率に与える影響が少ない。 (差額 1,152 円)

【標準保険料率(1人当たり保険税額)の試算結果について】

No.	保 険 者 名	現 状		平成27年度保険税(現年分)		ケース1: $\alpha = 1$ 、 $\beta =$ 岩手県 (0.8683)				ケース2: $\alpha = 0.5$ 、 $\beta =$ 岩手県 (0.8683)				ケース3: $\alpha = 1$ 、 $\beta = 1$			
		医療費指数	所得指数	27年度保険税 (A)	27年度保険税 ＋繰入金等 (B)	1人当たり 標準保険料率 (C)	27年度保険税との比較		1人当たり 標準保険料率 (D)	27年度保険税との比較		1人当たり 標準保険料率 (E)	27年度保険税との比較		27年度保険税 ＋繰入金等との比較	増減割合 (E)/(A)	増減割合 (E)/(B)
							増減額 (C)－(A)	増減割合 (C)/(A)		増減額 (D)－(A)	増減割合 (D)/(A)		増減額 (E)－(A)	増減割合 (E)/(A)			
				円	円	円	円	%	円	円	%	円	円	%	円	%	%
1	盛岡市	1.024	1.073	107,826	107,840	117,539	9,712	109.01%	115,684	7,858	107.29%	117,295	9,469	108.78%	9,455	108.77%	108.77%
2	宮古市	1.099	1.075	89,697	108,211	129,795	40,098	144.70%	124,205	34,508	138.47%	129,785	40,088	144.69%	21,574	119.94%	119.94%
3	大船渡市	1.056	1.181	112,864	115,449	133,180	20,316	118.00%	129,299	16,435	114.56%	134,209	21,345	118.91%	18,760	116.25%	116.25%
4	奥州市	0.891	0.971	114,540	120,088	97,926	▲ 16,613	85.50%	102,639	▲ 11,901	89.61%	97,726	▲ 16,813	85.32%	▲ 22,361	81.38%	81.38%
5	花巻市	0.929	0.898	92,918	99,640	105,719	12,802	113.78%	108,593	15,675	116.87%	105,380	12,462	113.41%	5,740	105.76%	105.76%
6	北上市	0.905	0.959	96,527	98,690	109,039	12,511	112.96%	113,102	16,575	117.17%	108,737	12,209	112.65%	10,047	110.18%	110.18%
7	久慈市	0.988	1.067	96,183	108,499	107,190	11,007	111.44%	107,178	10,995	111.43%	108,024	11,841	112.31%	▲ 475	99.56%	99.56%
8	遠野市	0.982	0.918	93,951	105,042	102,325	8,373	108.91%	102,581	8,630	109.19%	101,945	7,994	108.51%	▲ 3,097	97.05%	97.05%
9	一関市	0.907	0.940	102,859	111,255	101,907	▲ 952	99.07%	105,725	2,866	102.79%	101,320	▲ 1,539	98.50%	▲ 9,935	91.07%	91.07%
10	陸前高田市	1.128	1.197	102,469	102,469	145,858	43,389	142.34%	138,449	35,980	135.11%	146,630	44,161	143.10%	44,161	143.10%	143.10%
11	釜石市	1.163	0.907	90,752	90,752	128,186	37,435	141.25%	119,624	28,872	131.81%	127,446	36,695	140.43%	36,695	140.43%	140.43%
12	二戸市	0.929	0.940	106,737	106,737	103,289	▲ 3,448	96.77%	106,144	▲ 593	99.44%	103,276	▲ 3,460	96.76%	▲ 3,460	96.76%	96.76%
13	八幡平市	1.030	0.942	104,303	121,406	109,673	5,370	105.15%	107,411	3,108	102.98%	110,049	5,746	105.51%	▲ 11,357	90.65%	90.65%
14	滝沢市	0.991	0.999	111,150	133,854	119,548	7,398	106.66%	118,379	7,229	106.50%	118,480	7,330	106.59%	▲ 15,374	88.51%	88.51%
15	雫石町	1.042	1.062	95,787	154,262	128,755	32,968	134.42%	125,959	30,172	131.50%	129,465	33,678	135.16%	▲ 24,798	83.92%	83.92%
16	葛巻町	0.972	1.071	102,854	135,224	127,568	24,714	124.03%	128,374	25,520	124.81%	129,121	26,267	125.54%	▲ 6,103	95.49%	95.49%
17	岩手町	0.933	1.092	102,755	149,785	119,737	16,982	116.53%	122,836	20,081	119.54%	121,325	18,570	118.07%	▲ 28,460	81.00%	81.00%
18	紫波町	1.012	0.895	91,855	97,174	115,847	23,992	126.12%	114,660	22,805	124.83%	115,432	23,578	125.67%	18,259	118.79%	118.79%
19	矢巾町	1.084	1.070	110,572	116,651	142,992	32,421	129.32%	137,770	27,198	124.60%	143,663	33,091	129.93%	27,012	123.16%	123.16%
20	西和賀町	0.937	0.819	100,815	137,249	116,102	15,287	115.16%	118,559	17,744	117.60%	115,458	14,642	114.52%	▲ 21,792	84.12%	84.12%
21	金ヶ崎町	0.901	0.866	102,235	102,235	105,391	3,157	103.09%	109,452	7,218	107.06%	104,727	2,492	102.44%	2,492	102.44%	102.44%
22	平泉町	0.829	0.984	105,206	105,220	97,439	▲ 7,767	92.62%	105,042	▲ 164	99.84%	97,059	▲ 8,147	92.26%	▲ 8,161	92.24%	92.24%
23	住田町	1.143	0.986	121,879	121,879	128,668	6,789	105.57%	120,803	▲ 1,075	99.12%	128,890	7,011	105.75%	7,011	105.75%	105.75%
24	大槌町	1.324	0.961	108,791	121,709	132,492	23,701	121.79%	115,919	7,128	106.55%	132,070	23,279	121.40%	10,362	108.51%	108.51%
25	山田町	1.167	1.090	101,515	115,046	117,308	15,793	115.56%	107,779	6,264	106.17%	118,332	16,818	116.57%	3,287	102.86%	102.86%
26	岩泉町	1.003	0.894	95,107	114,440	108,912	13,805	114.52%	108,142	13,035	113.71%	108,590	13,483	114.18%	▲ 5,850	94.89%	94.89%
27	田野畑村	1.075	1.086	97,411	126,502	126,193	28,782	129.55%	121,517	24,106	124.75%	127,269	29,858	130.65%	767	100.61%	100.61%
28	普代村	0.846	1.225	95,382	106,454	100,301	4,919	105.16%	108,035	12,653	113.27%	102,174	6,792	107.12%	▲ 4,279	95.98%	95.98%
29	軽米町	0.839	0.983	91,517	115,703	109,179	17,662	119.30%	116,594	25,077	127.40%	109,618	18,102	119.78%	▲ 6,084	94.74%	94.74%
30	洋野町	0.908	1.202	106,960	130,221	122,183	15,223	114.23%	126,604	19,644	118.37%	124,198	17,238	116.12%	▲ 6,023	95.37%	95.37%
31	野田村	1.008	1.333	96,531	123,720	132,031	35,500	136.78%	130,897	34,366	135.60%	134,055	37,524	138.87%	10,335	108.35%	108.35%
32	九戸村	0.802	0.904	86,169	86,169	98,894	12,726	114.77%	107,729	21,561	125.02%	98,834	12,665	114.70%	12,665	114.70%	114.70%
33	一戸町	0.947	1.000	98,447	144,477	116,302	17,855	118.14%	118,383	19,936	120.25%	116,839	18,392	118.68%	▲ 27,638	80.87%	80.87%
	岩手県	1.000	1.000	98,456	107,156	113,937	15,481	115.72%	113,937	15,481	115.72%	113,937	15,481	115.72%	6,781	106.33%	106.33%

